

1 月医療安全ニュース

2019 年 1 月 30 日 あおもり協立病院 医療安全管理室

日々インシデント報告ありがとうございます。

1 2 月に発生したインシデントで皆様と共有・確認したいことがありました。

「経腸栄養の方への内服、 いつ溶かしていますか？」

事例紹介

・「経腸栄養の内服を溶かして 1 時間ほど放置していたら内服がゼリー状に固まり、亡失届けを出した」

最初は「どういう事???'と不思議に思いましたが、詳細を確認していくと当院における内服のタイミングが病棟によりそれぞれ違う事が分かりました。

・事例の詳細

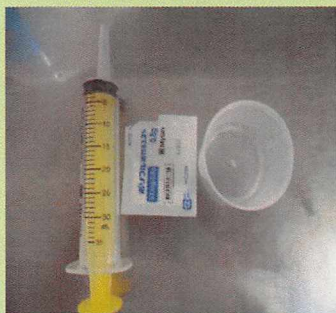
内服薬は「ポリフル細粒」。

添付文書によると、この薬は過敏性腸症候群治療剤として扱われる。薬効として小腸や大腸等の中性条件下で高い吸水性を示し、膨潤・ゲル化すると記載されていました。

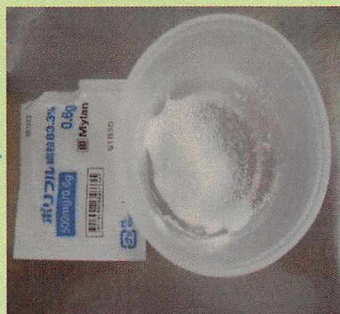
事例通り 1 時間放置するとどのようになるでしょう？

薬局からの協力が得られたので、試してみよう！

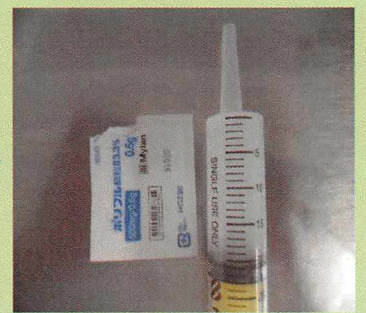
物品準備ですね



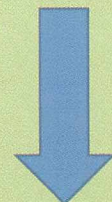
内服薬を入れ・・・



溶かします



溶かした状態で 1 時間放置すると・・・





お分かりでしょうか？ シリンジの中で三角形になっています。
この状態でシリンジを振っても形が崩れる事はありませんでした。

当院の経腸栄養注入手順では、

「固まりそうな薬の場合は直前に溶解する事」と記載されていますが薬品名記載がされていない為、どの薬が固まるのかは分かりません。

そもそも、製薬会社の見解としても溶かしてから1時間放置する事は想定しておりません。また、簡易懸濁法での溶解安定性は10分までのデータしか出されていません。それ以上は想定していません。

以上の事より

**患者に不利益を与えない為にも
医療安全管理室では内服を溶かしてから
10分以内の注入を強く推奨します！**

患者の安全はみんなで守っていこう！